

**コウノトリの野外繁殖がなされている
自治体の情報発信について**

本田 裕子
社会共生学部 公共政策学科 教授

1. はじめに

コウノトリは世界的にも絶滅危惧種であり、日本では 1971 年に野生下絶滅の後に 2005 年に兵庫県豊岡市で国内最初の野生復帰(放鳥)が実施された。その後も放鳥の実施や野外繁殖の成功により、2023 年 12 月 31 日時点で 371 羽の生息が確認されている¹⁾。2023 年の繁殖シーズンまでに野外繁殖に成功²⁾した自治体は 24 自治体となる(表 1)。

表 1 2023 年繁殖シーズンまでに野外繁殖に成功した自治体一覧

兵庫県豊岡市	2007年～2023年
兵庫県養父市	2018年・2020年～2023年
兵庫県朝来市	2020年～2023年
兵庫県淡路市	2021年～2023年
兵庫県稲美町	2023年
京都府京丹後市	2012年～2013年・2018年～2023年
京都府綾部市	2020年～2023年
徳島県鳴門市	2017年～2023年
香川県まんのう町	2023年
島根県雲南市	2017年～2023年
鳥取県鳥取市	2019年～2022年
鳥取県北栄町	2022年～2023年
鳥取県八頭町	2022年～2023年
広島県世羅町	2023年
佐賀県白石町	2023年
福井県坂井市	2019年
福井県越前市	2020年～2023年
福井県小浜市	2021年～2023年
福井県鯖江市	2022年～2023年
石川県志賀町	2022年～2023年
石川県津幡町	2023年
栃木県小山市	2020年～2023年
茨城県神栖市	2023年
茨城県行方市	2023年

コウノトリは、1956 年に国の特別天然記念物(「文化財保護法」)に、1993 年に国内希少野生動物種(「種の保存法」)に指定されており、野外繁殖に伴う状況に応じて自治体ではさまざまな対応が必要となる。

本稿では、野生復帰の拠点施設である兵庫県立コウノトリの郷公園および 24 自治体が主にコウノトリの野外繁殖に関係して発信している情報を抽出し、また 24 自治体のうち 2 自治体を訪問した内容を加えて、野外繁殖についての情報発信の現状を整理する。方法としては、まずコウノトリの野外繁殖について、どのような情報が発信されているのか、兵庫県立コウノトリの郷公園および野外繁殖に成功した自治体のウェブサイト(2024 年 2 月 14 日閲覧)を対象として整理する。そして野外繁殖の状況として、2024 年 2 月に現地調査で訪問した自治体について報告する。

2. 兵庫県立コウノトリの郷公園が発信している情報

兵庫県立コウノトリの郷公園では、コウノトリ飛来・繁殖時の対応パンフレットとして『あなたのまちでコウノトリが巣づくりをはじめたら』³⁾ (2021年1月)を作成し、ウェブサイト上に掲示している。本稿ではこのパンフレットに着目して情報を整理する。パンフレットは以下の構成となっている。

- ・はじめに
- ・コウノトリが定着・繁殖するために
- ・コウノトリの見分け方、特徴
- ・コウノトリへの対応方法 Q&A
観察・餌やり／けが・死亡／営巣場所／営巣可否判断／関係機関との連絡調整／関係法規／産卵から巣立ちまで／足環の役割／個体情報・識別／住民等への対応
- ・コウノトリの繁殖地が広がるということ
- ・IPPM-OWS の活動

このパンフレットの「はじめに」では、2021年当時の園長である江崎保男氏の挨拶が述べられており、「コウノトリの新たな定着・繁殖が、全国のどの地域で起きても不思議ではない状況になっているのです。」と述べられ、「全国の地方公共団体に配布し、適切な対応をさせていただこうという趣旨のもと、本冊子『あなたのまちでコウノトリが巣づくりをはじめたら』を作成しました」との記載がある。

「コウノトリが定着・繁殖するために」では、「1年を通した豊かな餌環境」、「長期滞在、定着へ」、「繁殖年齢を迎えた雌雄の出会い」、「ペア形成、繁殖へ」が矢印で示された図とともに、「コウノトリが選ぶまち」は、多様な生き物でにぎわう、人間にとっても心安らぐ豊かな地域です。地域の特性に合った環境整備を行い、餌となる多様な動物（魚類、両生類、ヘビ、バッタ等）が四季を通じて得られるようになれば、次は『あなたのまち』で、コウノトリのヒナが誕生するかもしれません。」と記載されている。

「コウノトリの見分け方、特徴」では、コウノトリの大きさや飛ぶときの姿勢（アオサギとの違いを含む）の目安が図示され、個体識別の足環についての説明も記載されている。また、コウノトリの目撃情報の募集として、コウノトリの郷公園宛てのメール、FAX、電話、郵送の連絡先の記載もある。

「コウノトリへの対応方法 Q&A」では、Q&A 方式で記載されている。Q では以下のような問いが設定されている。

- コウノトリを観察する人々には、どのようなことに気を付けてもらえばよいでしょうか。
- 餌を与える人がいます。どのような対応が必要ですか。

- けがをしているコウノトリがいます。どのように対応すればよいでしょうか。
- コウノトリが死んでいる状態で見つかりました。どのように対応すればよいでしょうか。
- コウノトリはどんなところに巣を作りますか。
- コウノトリが巣を作り始めましたが、どのように対応すればよいでしょうか。
- 繁殖を継続させる場合は、どのような体制で対応する必要がありますか。
- コウノトリの産卵からふ化、巣立ちまでの日数を教えてください。
- ふ化したコウノトリに「足環」をつけるのはなぜですか。
- 足環がついているコウノトリの個人情報を知るにはどうすればよいですか。
- コウノトリの巣の近くに大勢の見学者が来てしまいます。どのように対応すればよいでしょうか。

なお、ここのQ&Aの欄外には、「コウノトリは、主に2つの法律によって保護されています。」とあり、許可・届出等についての記載もされている。例えば、死亡については文化庁宛てに「滅失届」が必要とある。足環や発信機の装着、血液の採取については「文化財保護法」関係では都道府県あるいは市の文化財担当課宛てに「現状変更の許可」、「種の保存法」関係では地方環境事務所宛てに「捕獲許可」が必要となる。このように、コウノトリが飛来・繁殖が確認された自治体ではさまざまな手続きが必要であり、野外繁殖に成功した自治体のコウノトリに関する担当部署が教育委員会をはじめとする教育部局が多いことは、コウノトリが特別天然記念物という文化財であることが背景にあることが窺える。

「コウノトリの繁殖地が広がるということ」では、結びとして「コウノトリの繁殖を受け入れ、コウノトリと人が共生していくためには、地方公共団体や地域の人々、農林水産業の関係者、学校、NPO等多様な主体・組織が連携し、自主的・積極的に地域づくりに取り組むことが必要です。コウノトリの野生復帰、特にその象徴ともいえる定着・繁殖は、その地が豊かな自然を有していることをコウノトリが証明するものであり、『持続可能な共生社会の実現』への足がかりになると思います。」と述べている。

「IPPM-OWSの活動」では、IPPM-OWS、すなわち「コウノトリの個体管理に関する機関・施設間パネル」についての説明が記載され、新たな繁殖地へのサポートも行っているとして、繁殖地となった地方公共団体への加盟を促している。

3. 野外繁殖に成功した自治体について

3-1 自治体が発信している情報

前述のように2023年の繁殖シーズンまでに野外繁殖に成功した自治体は24となる。24自治体が発信しているコウノトリに関する情報を、自治体の基本情報（人口⁴⁾・水田面積率⁴⁾・林野面積率⁴⁾）をもとに以下に整理した。発信している情報については、コウノトリについて明確にページを設けて発信しているものを対象とし、問い合わせ

先が明記されている場合はその部署も記載した。自治体の掲載順は表1の順番とする。

(1) 兵庫県豊岡市

人口：77,489人

水田面積率：85.0%

林野面積率：79.4%

野外繁殖成功年：2007年～2023年

その他：放鳥（ハードリリース）を2005年～2007年・2012年に実施。

放鳥（ソフトリリース）を2005年～2010年に実施。

発信している情報：市のサイト内でもコウノトリに関するページ⁵⁾を設けているが、それとは別に「コウノトリと共に生きる豊岡」というポータルサイト⁵⁾を設けている。ポータルサイトでは、「コウノトリの野生復帰」、「ラムサール条約湿地」、「コウノトリについて」、「コウノトリブログ」という見出しがつけられている。

情報の問い合わせ先部署：コウノトリ共生部コウノトリ共生課

(2) 兵庫県養父市

人口：22,129人

水田面積率：78.2%

林野面積率：84.1%

野外繁殖成功年：2018年・2020年～2023年

その他：放鳥（ハードリリース）を2018年～2019年・2021年～2023年に実施。

放鳥（ソフトリリース）を2013年・2015年～2017年に実施。

発信している情報：「コウノトリ野生復帰」というページ⁶⁾を設けて、以下の記事を掲載している。なお、「コウノトリが帰ってきました！」内には「養父市におけるコウノトリの歴史」として、コウノトリの句碑や「松に鶴」が描かれた「村限通用貨銭預切手札」、昭和31年頃のコウノトリの写真も掲載されている。

- ・コウノトリが帰ってきました！
- ・コウノトリの野生復帰に向けた取り組み（平成24年度）
- ・コウノトリの野生復帰に向けて（ヒナ誕生から）
- ・コウノトリAZペア（一家で養父市へ）
- ・平成28年7月5日、伊佐コウノトリを大空へ向け放鳥しました
- ・伊佐コウノトリ 平成28年ソフトリリース（すすむ・あゆむ）
- ・伊佐コウノトリ拠点ゲージから幼鳥1羽の飛び立ち確認
- ・コウノトリ「進」が韓国江陵市へ
- ・伊佐コウノトリ放鳥拠点のコウノトリの飼育を終了そして、野生復帰の取組が新たな段階に

情報の問い合わせ先部署：産業環境部環境推進課

(3) 兵庫県朝来市

人口：28,989人

水田面積率：91.3%

林野面積率：84.0%

野外繁殖成功年：2020年～2023年

その他：放鳥（ハードリリース）を2019年に実施。

放鳥（ソフトリリース）を2013年～2018年に実施。

発信している情報：市サイト内で「コウノトリ」と検索すると、議会一般質問通告書や学校給食の献立表の中で「コウノトリ」の記載はあるが、コウノトリについてページを設けていることは確認できず。

(4) 兵庫県淡路市

人口：41,967人

水田面積率：85.0%

林野面積率：39.3%

野外繁殖成功年：2021年～2023年

発信している情報：市サイト内で「コウノトリ」と検索すると広報でヒナの愛称を募集していることは確認できたが、コウノトリについてページを設けていることは確認できず。

(5) 兵庫県稲美町

人口：30,268人

水田面積率：97.4%

林野面積率：3.2%

野外繁殖成功年：2023年

発信している情報：「コウノトリについて」というページ⁷⁾を設けて、「コウノトリを見かけたら」、「コウノトリに関するよくある質問」という見出しをつけて、兵庫県立コウノトリの郷公園のリンクも掲載している。観察の際には150mの距離を保つこと、ケガまたは死亡しているコウノトリがいた場合の連絡先（生涯学習課、町立郷土資料館、産業課（鳥獣担当）の電話番号）を記載している。

情報の問い合わせ先部署：教育委員会・教育政策部生涯学習課

(6) 京都府京丹後市

人口：50,860人

水田面積率：76.4%

林野面積率：74.1%

野外繁殖成功年：2012年～2013年・2018年～2023年

発信している情報：「京丹後市のコウノトリ」というページ⁸⁾を設けて、「過年度コ

ウノトリ情報」、「令和5年度コウノトリ情報」、「コウノトリ動画配信」という見出しをつけている。また「コウノトリ飛来時の対応」として、前述したコウノトリの郷公園の『あなたのまちにコウノトリが飛来したら』のリンクが記載されている。また、「令和5年度コウノトリ情報」のページでは、「コウノトリを観察・撮影される皆さまへのお願い」として、「【子育て中】コウノトリの親鳥は特に神経質になります。驚かせないように離れたところから、静かに見守りましょう。」、「【巣立ち】ヒナは成長とともに飛べるようになってきますが、飛翔能力は未熟です。」、「観察の際、私有地や侵入禁止の農道などには立ち入らないようにしてください。」、「コウノトリは野生動物です。絶対に餌を与えないでください。」を記載している。

情報の問い合わせ先部署：教育委員会事務局文化財保存活用課

(7) 京都府綾部市

人口：31,846人

水田面積率：79.5%

林野面積率：76.5%

野外繁殖成功年：2020年～2023年

発信している情報：市サイト内で「コウノトリ」と検索すると市長のコラム内でコウノトリの繁殖について取り上げていること⁹⁾は確認できたが、コウノトリについてページを設けていることは確認できず。

(8) 徳島県鳴門市

人口：54,622人

水田面積率：49.6%

林野面積率：52.3%

野外繁殖成功年：2017年～2023年

発信している情報：市サイト内で「コウノトリ」と検索すると、例えばコウノトリが「市の鳥」に指定されたこと¹⁰⁾や「コウノトリ定着歓迎・PR『ブランド名称・ロゴマーク』」の募集¹⁰⁾は確認できたが、コウノトリについてページを設けていることは確認できず。

情報の問い合わせ先部署：産業振興部農林水産課（ブランド名称・ロゴマーク募集の情報）

(9) 香川県まんのう町

人口：17,401人

水田面積率：87.5%

林野面積率：68.6%

野外繁殖成功年：2023年

発信している情報：町サイト内で「コウノトリ」と検索しても出てこず。

(10) 島根県雲南市

人口：36,007人

水田面積率：82.9%

林野面積率：79.7%

野外繁殖成功年：2017年～2023年

その他：2017年5月に誤射事件により子育て中の親コウノトリ1羽が死亡したことはメディアで多く取り上げられた¹¹⁾。

発信している情報：市サイト内で「コウノトリ」と検索すると、「コウノトリのヒナの愛称が決定しました」¹¹⁾、『雲南市コウノトリの保護及び共生に関する条例』を制定しました¹¹⁾や『“幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりビジョン』の策定について¹¹⁾のページが確認できる。「コウノトリのヒナの愛称が決定しました」では、「コウノトリを観察・撮影される皆様へ」として「繁殖地（西小学校巣塔）周辺での見学・撮影はご遠慮ください」や「異常を発見した場合」の記載があり、後者では教育委員会文化財課の電話番号の記載もある。また、島根県文化財課「特別天然記念物コウノトリを見守りましょう」¹¹⁾へのリンクも掲載されている。

情報の問い合わせ先部署：政策企画部地域振興課・教育委員会文化財課

(11) 鳥取県鳥取市

人口：188,465人

水田面積率：78.8%

林野面積率：71.4%

野外繁殖成功年：2019年～2022年

発信している情報：「特別天然記念物コウノトリの取扱い方針について」¹²⁾というページを設けており、「飛来地・営巣地の地区名が公開されると不特定多数の観察者や撮影者が集中し、地域住民に迷惑がかけられ、対象個体にもストレスを与える恐れがあるため、確認場所の詳細は非公開とします。」という記載がある。また観察のルールとして、「静かに見守りましょう。」「地域に迷惑をかけないようにしましょう。」「繁殖期間は、巣に近づかないようにしましょう。」「野生のコウノトリにエサを与えるのはやめましょう。」「コウノトリが電柱等に巣を作っている場合は、電柱を管理している管理会社等に連絡してください。」「連絡先等」が記載されている。「連絡先等」では、「怪我をしているコウノトリを見つけたとき」では鳥取県生活環境部緑豊かな自然課、「コウノトリが死亡しているを見つけたとき」では鳥取市教育委員会文化財課または鳥取県地域づくり推進部文化財局文化財課、「コウノトリ、及び標識足環についての問い合わせ」では兵庫県立コウノトリの郷公園の電話番号の記載がある。

情報の問い合わせ先部署：教育委員会文化財課

(12) 鳥取県北栄町

人口：14,228人

水田面積率：41.1%

林野面積率：25.3%

野外繁殖成功年：2022年～2023年

発信している情報：町サイト内で「コウノトリ」と検索すると、文化財保護委員会の資料、町議会の質問、広報での記載があるが、コウノトリについてページを設けていることは確認できず。

情報の問い合わせ先部署：生涯学習課文化・スポーツ推進室（文化財保護委員会の資料）

(13) 鳥取県八頭町

人口：15,937人

水田面積率：78.5%

林野面積率：80.0%

野外繁殖成功年：2022年～2023年

発信している情報：「社会教育課」のページから「コウノトリ」として「コウノトリの足環装着作業を行いました¹³⁾と「コウノトリの生態調査に伴う情報提供のお願い」¹³⁾のページにリンクがされている。後者では、鳥取環境大学と共同で調査を行う旨、コウノトリに関する情報提供が募集されているが、注意事項として「人工巣塔を設置した八頭高等学校は、学校関係者以外立入禁止です。路上駐車や個人の土地へ侵入することのないようにしてください。コウノトリとの距離は150メートルが目安です。」との記載もある。

情報の問い合わせ先部署：教育委員会社会教育課

(14) 広島県世羅町

人口：15,125人

水田面積率：83.9%

林野面積率：69.2%

野外繁殖成功年：2023年

発信している情報：「コウノトリの愛称が決定しました！」¹⁴⁾というページを設けており、町内の小学生、中学生、高校生からヒナの愛称を募集し、決定した旨の記載がある。

情報の問い合わせ先部署：教育委員会社会教育課

(15) 佐賀県白石町

人口：22,051人

水田面積率：96.4%

林野面積率：10.7%

野外繁殖成功年：2023年

発信している情報：「生涯学習・スポーツ」のページに「コウノトリ（国特別天然記念物）の白石町への飛来と営巣行動について」¹⁵⁾と「コウノトリのヒナの愛称決定について」¹⁵⁾のページの記載がある。後者では「コウノトリの見守りについてのお願い」として、以下の記載がある。

- ・地域住民の迷惑となりますので、水田、私有地への立ち入り、路上駐車などをしないよう、マナーの徹底についてご協力をお願いします。
- ・コウノトリを観察・撮影する際は、150m 離れて行ってください。また、フラッシュは使用しないでください。
- ・コウノトリは、野生動物です。エサを与えないでください。
- ・コウノトリの場所については、お答えできません。
- ・2羽は巣立ちを終えたため、具体的な位置は不明です。

情報の問い合わせ先部署：教育委員会生涯学習課

(16) 福井県坂井市

人口：88,481人

水田面積率：88.9%

林野面積率：35.1%

野外繁殖成功年：2019年

発信している情報：「コウノトリの見守り活動に感謝状を贈呈」¹⁶⁾や「コウノトリのはく製が大石地区にやってきた」¹⁶⁾のページが確認できる。

情報の問い合わせ先部署：総務部秘書広報課

(17) 福井県越前市

人口：80,611人

水田面積率：95.0%

林野面積率：61.5%

野外繁殖成功年：2020年～2023年

その他：放鳥（ハードリリース）を2015年～2018年に実施。

発信している情報：「コウノトリ」¹⁷⁾というページを設けていて、コウノトリの説明、繁殖状況の情報提供、「コウノトリが舞う里づくり」として市の取り組み等の発信を行っている。

情報の問い合わせ先部署：環境農林部農政課

(18) 福井県小浜市

人口：28,991人

水田面積率：91.5%

林野面積率：81.7%

野外繁殖成功年：2021年～2023年

発信している情報：「コウノトリ」¹⁸⁾ というページを設けていて、コウノトリのヒナの誕生、ヒナの愛称募集・決定、足輪装着、巣立ち等の情報発信を行っている。また、小浜第二中学校の生徒が、小浜市活性化案を採る探求学習の一環として、コウノトリを活用したLINE スタンプを作成し、収益は全額「コウノトリの里づくり推進会」に寄付されるという記載¹⁸⁾ もあった。

情報の問い合わせ先部署：民生部環境衛生課

(19) 福井県鯖江市

人口：68,302人

水田面積率：96.6%

林野面積率：37.2%

野外繁殖成功年：2022年～2023年

発信している情報：「コウノトリのヒナが誕生しました」¹⁹⁾ というページを設けており、2022年と2023年の繁殖についての情報発信を行っている。

情報の問い合わせ先部署：産業環境部環境政策課

(20) 石川県志賀町

人口：18,630人

水田面積率：78.8%

林野面積率：65.3%

野外繁殖成功年：2022年～2023年

発信している情報：町サイト内で「コウノトリ」と検索すると、2022年と2023年のヒナ誕生について町広報の表紙で取り上げていること²⁰⁾ が確認できたが、コウノトリについてページを設けていることは確認できず。

情報の問い合わせ先部署：デジタル情報課（広報について）

(21) 石川県津幡町

人口：36,957人

水田面積率：79.4%

林野面積率：50.9%

野外繁殖成功年：2023年

発信している情報：町サイト内で「コウノトリ」と検索すると、「2023年津幡町10大ニュース」の1つとして「町内で初！『特別天然記念物コウノトリ 誕生・巣立ち』」が選定されたこと²¹⁾、町広報でコウノトリのヒナ誕生の記載があること²¹⁾ 等が確認できるが、コウノトリについてページを設けていることは確認できず。

情報の問い合わせ先部署：総務部企画課（10大ニュースについて）

(22) 栃木県小山市

人口：166,666人

水田面積率：74.7%

林野面積率：3.1%

野外繁殖成功年：2020年～2023年

発信している情報：「コウノトリ・トキ」²²⁾ というページを設けており、その中で「コウノトリの野生復帰」と「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」という見出しをつけている。「コウノトリの野生復帰」²²⁾ のページでは、各年の繁殖の状況についての記載がされている。また、「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館について」²²⁾ として、2020年に開館したエコツーリズムや環境教育の拠点施設である「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館」の情報も発信している。

情報の問い合わせ先部署：総合政策部自然共生課

(23) 茨城県神栖市

人口：95,454人

水田面積率：65.9%

林野面積率：3.6%

野外繁殖成功年：2023年

発信している情報：市サイト内で「コウノトリ」と検索すると、「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム負担金」等の情報は出てくるが、コウノトリについてページを設けていることは確認できず。

(24) 茨城県行方市

人口：32,185人

水田面積率：46.9%

林野面積率：19.4%

野外繁殖成功年：2023年

発信している情報：市サイト内で「コウノトリ」と検索しても出てこず。

以上のまとめから、24自治体中、自治体のサイト内でコウノトリの繁殖等に関する情報を、明確にページを設けて発信しているのは13自治体であり、情報の問い合わせ先については、兵庫県豊岡市（コウノトリ共生部コウノトリ共生課）と島根県雲南市（政策企画部地域振興課）を除けば、教育委員会をはじめとする教育部局と環境保全に関する環境部局（農林部局含む）であった。また、兵庫県豊岡市は、市のサイト内だけではなく、別にポータルサイトを開設している。それ以外の自治体では通常の自治体のサイト内でページを設けて情報を発信している。

発信している情報の多くは繁殖に関することであるが、観察ルールの啓発、またケガや死亡したコウノトリを発見した際の連絡先について発信しているところも多い。

なお、兵庫県豊岡市や島根県雲南市、福井県越前市のような、地域づくりの柱の一つとして「コウノトリとの共生」を掲げている自治体では、取り組みに関する内容について発信している。

3-2 自治体の訪問から

筆者が2024年2月に訪問した2つの自治体について情報を整理する。

(1) 佐賀県白石町

2024年2月8日に訪問した。白石町では2022年にも、ふ化後1週間程度でヒナは死亡してしまっていたが、産卵・ふ化はしており、2023年の繁殖と併せて担当者から話を伺った。コウノトリは、町内では水田、れんこん畑、水路にいるとのことである。2022年の繁殖は人家から100m程離れた場所にある電柱(図1)であり、農業用の電柱ということで特に対策はせず、産卵・ふ化となった。結果的にヒナがすぐに死亡してしまったので、ヒナの誕生についての公表はヒナの死亡後となった。なお、日本野鳥の会佐賀県支部の提供により、繁殖した電柱の近くに人工巣塔(図2)を2022年12月に設置している。



図1 2022年に繁殖した電柱
(2024年2月8日筆者撮影)



図2 図1の近くに立てられた人工巣塔
(2024年2月8日筆者撮影)

親ペアのコウノトリは2022年8月頃から町外に出ていたが、2023年3月に町内で確認され、2022年の繁殖に使った電柱のある地区とは別の地区の電柱(図3)に巣材を運び、巣づくりを行った。そのままその電柱で産卵し、4羽がふ化し、最終的には2羽が巣立つことになった。なお、電柱については、感電の危険がないように、九州電力の協力により対策工事を行ってもらったとのことである。6月には足環装着を行い、コウノトリの郷公園、福岡市動物園、九州電力、佐電工、日本野鳥の会等の協力を得て実施した。メディアの報道でカメラマンや見物客が多く訪れるようになったので、土日には交通誘導員を配置したこともわかった。

2024年2月時点で親ペアのコウノトリが戻ってきているとのことであったが、訪問日は目撃できなかった。



図3 2023年に繁殖した電柱 (2024年2月8日筆者撮影)

(2) 広島県世羅町

2024年2月9日に訪問した。世羅町では2023年に繁殖に成功しているが、2020年頃からコウノトリの飛来は定期的に確認され、いろいろな個体に来ていたとのことである。コウノトリが飛来するのは水田や草地となった耕作放棄地とのことである。また近隣の自治体内に大きなため池があり、そこにコウノトリが集団で飛来していることも確認されているそうである。2023年の繁殖場所は人家近くの電柱であり、3羽が巣立った。繁殖期間中は地区住民からは、カメラマンや見物客等が来ることへの懸念があった。そのため警察に依頼して定期的な巡回をしてもらい、その旨を記載した配布物を地区に配布したとのことであった。子育ての様子はケーブルテレビが定期的に放映したことに加え、町内にある「せら夢公園」がコウノトリの郷公園からカメラを借りて、YouTube上で配信していたとのことである。足環装着は6月に行い、コウノトリの郷公園、福山市立動物園、中国電力、三原野鳥の会等の協力を得て実施した。

2024年1月には世羅中学校そばに人工巣塔(図4)が完成した。地域住民や世羅町等で作る「コウノトリ保全地域協議会」が設置したものとなる。電柱に巣をつくと感電の恐れもあり、安心して繁殖できるために人工巣塔がつくられたとのことである。人工巣塔には、2023年の巣材もせている。実際に、筆者が訪問した日にも、この人工巣塔近くの電柱にコウノトリがとまっていることが確認できた(図5)。



図4 2024年に完成した人工巣塔 (2024年2月9日筆者撮影)



図5 人工巣塔近くの電柱上にあるコウノトリ（○印）（2024年2月9日筆者撮影）

4. まとめ

本稿では、野外繁殖に成功する自治体の広がりを受けて、どのような情報が発信されているのかについて情報整理することを行った。その結果、24自治体の約半数が自治体サイト内でコウノトリに関するページを設けて発信していることがわかった。

なお、自治体サイト内で発信していない自治体でも、SNS や広報誌で発信していることがあった。例えば、鳥取県北栄町ではFacebook では発信しており、例えば、2022年4月2日には以下の投稿をしている²³⁾。

人もコウノトリも住みよい町「北栄町」 町内にコウノトリのつがいが巣作りを始めているようです。北栄町で生まれたコウノトリが無事に巣立ってくれたらうれしいですね。場所は敢えてお伝えしません。場所を知ってる人も、知らない人もそっと温かく見守ってあげてほしいです。（場所を教えて欲しいとか、場所を特定するようなコメントはお控えいただけますようお願いいたします。）

本稿はインターネット上の自治体のウェブサイト限定して情報を収集・整理したものであるが、そもそも情報の受け手である自治体住民やコウノトリに関心のある人たちは、自治体のウェブサイトよりも SNS の方が情報を確認しやすい、という利点があるだろう。今後の研究では SNS にも着目して、自治体がコウノトリについて、どのような情報を発信しているのかを収集・整理していきたい。

また、自治体が発信する情報では、コウノトリの繁殖を知らせるとともに、その観察のルールやケガ・死亡時の問い合わせ先といった内容が主であり、本稿2節で取り上げた兵庫県立コウノトリの郷公園が発信している情報を参考に行っていることがわかる。実際に現地調査でも、カメラマンや見学客の中にはマナーを守らない人たちがいることへの懸念も示されていることが明らかになった。そもそもコウノトリが繁殖しているのが人家近くの電柱である、ということも関係しているだろう。そのため自治

体としてもカメラマンや見物客等から受ける住民への影響を懸念して、繁殖に関する情報を積極的に発信していないということも考えられる。

このようにコウノトリの繁殖場所が人家の近くであり、カメラマンや見物客等の対応も必要となる。そして近年では「人工物との衝突」も懸念されている²⁴⁾。コウノトリが繁殖を行う自治体では、「コウノトリとの共生」をまちづくりの方針に活かす・活かさないに関わらず、「コウノトリとの共生」を検討することが課題になるといえる。

兵庫県立コウノトリの郷公園は2011年8月に「野生復帰ランドデザイン」を策定している。その中で「短期目標：安定した真の野生個体群の確立とマネジメント」、「中期目標：国内のメタ個体群構造の構築」を掲げ、「野生復帰のゴール」として「1. 安定したメタ個体群構造の構築、2. コウノトリと共生する持続可能な地域社会の実現、3. コウノトリが普通種になること」と明記している²⁵⁾。したがって、野外繁殖に成功する自治体の広がりには、「安定したメタ個体群構造の構築」を目指す上で必要なことである。実際に、コウノトリの野外繁殖は順調に進んでおり、野外での生息数が100羽を超えたのが2009年、200羽を超えたのが2020年、そして300羽を超えたのが2022年となる。

今後も野外繁殖に成功する自治体の数は増えていくだろう。今回対象にした24の自治体だけではなく、新たに繁殖が成功した自治体も対象に加えて、自治体の対応および課題について把握する調査を実施していくことは今後の課題としたい。

【付記】

本研究の現地調査は科学研究費補助金（基盤研究C：22K12578）を使用しました。現地調査にあたって、佐賀県白石町、広島県世羅町の担当職員の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

【補注】

1) 兵庫県立コウノトリの郷公園「野外個体数」

https://satokouen.jp/in_situ/in_situ_ows_num (2024年2月3日閲覧)

2) 本稿での「野外繁殖に成功」とは、繁殖して生まれた幼鳥の巣立ちが成功したことを意味する。情報は以下のサイトを参考にした。

兵庫県立コウノトリの郷公園「足環カタログ」

https://satokouen.jp/downloads/ind_identif/ind_identif.pdf (2024年2月3日閲覧)

3) 兵庫県立コウノトリの郷公園「コウノトリ飛来・繁殖時の対応パンフレット『あなたのまちでコウノトリが巣づくりをはじめたら』」

https://satokouen.jp/downloads/ows_fly_breed.pdf (2024年2月3日閲覧)

4) 以下のサイトを参照し、情報を整理した。人口は2020年国勢調査、水田面積率および森林面積率は2020年農林業センサスに基づいている。水田面積率は田耕地面積／耕地面積、林野面積率は林野面積／総土地面積で算出されている。

農林水産省「わがマチ・わがムラ」

- <https://www.machimura.maff.go.jp/machi/index.html> (2023年2月13日閲覧)
- 5) 兵庫県豊岡市「コウノトリと育む」
<https://www.city.toyooka.lg.jp/konotori/index.html> (2023年2月14日閲覧)
兵庫県豊岡市「コウノトリと共に生きる豊岡」(ポータルサイト)
<https://toyooka-kounotori.com/> (2023年2月14日閲覧)
- 6) 兵庫県養父市「コウノトリ野生復帰」
https://www.city.yabu.hyogo.jp/kurashi_tetsuzuki/gomi_kankyo_eisei/yaseifukki/index.html (2023年2月14日閲覧)
- 7) 兵庫県稲美町「コウノトリについて」
<https://www.town.hyogo-inami.lg.jp/0000005947.html> (2023年2月14日閲覧)
- 8) 京都府京丹後市「京丹後市のコウノトリ」
<https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/kyoikuiinkai/bunkazaihogo/2/1/index.html> (2023年2月14日閲覧)
- 9) 京都府綾部市「市長の部屋コラム：コウノトリ再び?—善聞語録 134 (広報4月号掲載)」
<https://www.city.ayabe.lg.jp/0000000617.html> (2023年2月14日閲覧)
- 10) 徳島県鳴門市「コウノトリが市の鳥に指定されました」
<https://www.city.naruto.tokushima.jp/docs/2017121800035/> (2023年2月14日閲覧)
徳島県鳴門市「コウノトリ定着歓迎・PR 『ブランド名称・ロゴマーク』募集!」
https://www.city.naruto.tokushima.jp/_files/00101462/yoko.pdf (2023年2月14日閲覧)
- 11) 日本経済新聞「コウノトリ 誤射で死ぬ 島根、4月にひな誕生」(2017年5月20日更新)
https://www.nikkei.com/article/DGXLASDG20H24_Q7A520C1CC0000/ (2023年2月14日閲覧)
島根県雲南市「コウノトリのヒナの愛称が決定しました」
<https://www.city.unnan.shimane.jp/unnan/kankou/bunkasports/bunka/2023-0621-1244-27.html> (2023年2月14日閲覧)
島根県雲南市『「雲南市コウノトリの保護及び共生に関する条」』を制定しました」
<https://www.city.unnan.shimane.jp/unnan/kankou/bunkasports/bunka/2023-0425-1632-27.html> (2023年2月14日閲覧)
島根県雲南市『「幸せを運ぶコウノトリ」と共生するまちづくりビジョン』の策定について」
https://www.city.unnan.shimane.jp/unnan/kankou/bunkasports/bunka/kounotori_vision.html (2023年2月14日閲覧)
島根県文化財課「特別天然記念物コウノトリを見守りましょう」
<https://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/bunkazai/shimane/tokubetutennennkinennbuketounotori/index.html> (2023年2月14日閲覧)
- 12) 鳥取県鳥取市「特別天然記念物コウノトリの取扱い方針について」
<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1555049659981/index.html> (2023年2月14日閲覧)
- 13) 鳥取県八頭町「コウノトリの足環装着作業を行いました」

- <https://www.town.yazu.tottori.jp/soshiki/28/5798.html> (2023年2月14日閲覧)
鳥取県八頭町「コウノトリの生態調査に伴う情報提供のお願い」
- <https://www.town.yazu.tottori.jp/soshiki/28/5481.html> (2023年2月14日閲覧)
- 14) 広島県世羅町「コウノトリの愛称が決定しました！」
- <https://www.town.sera.hiroshima.jp/soshiki/10/10802.html> (2023年2月14日閲覧)
- 15) 佐賀県白石町「コウノトリ (国特別天然記念物) の白石町への飛来と営巣行動について」
- https://www.town.shiroishi.lg.jp/jyuumin/manabu/shougai_gakushuu/_5576.html (2023年2月14日閲覧)
- 佐賀県白石町「コウノトリのヒナの愛称決定について」
- https://www.town.shiroishi.lg.jp/jyuumin/manabu/shougai_gakushuu/_7036.html (2023年2月14日閲覧)
- 16) 福井県坂井市「コウノトリの見守り活動に感謝状を贈呈」
- <https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/koho/shisei/koho/focus/2019/11gatsu/2019-12-18.html> (2023年2月14日閲覧)
- 福井県坂井市「コウノトリのはく製が大石地区にやってきた」
- <https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/koho/shisei/koho/focus/2021/4gatsu/2021-06-02.html> (2023年2月14日閲覧)
- 17) 福井県越前市「コウノトリ」
- <https://www.city.echizen.lg.jp/local-industry/nogyo/konotori/index.html> (2023年2月14日閲覧)
- 18) 福井県小浜市「コウノトリ」
- <https://www1.city.obama.fukui.jp/kurashi/eisei-kankyo/kounotori/index.html> (2023年2月14日閲覧)
- 福井県小浜市「コウノトリのLINEスタンプができました！！」
- <https://www1.city.obama.fukui.jp/kurashi/eisei-kankyo/kounotori/linestap.html> (2023年2月14日閲覧)
- 19) 福井県鯖江市「コウノトリのヒナが誕生しました」
- https://www.city.sabae.fukui.jp/kurashi_tetsuduki/sizen/Kankyo0120220526.html (2023年2月14日閲覧)
- 20) 石川県志賀町「広報しか令和5年8月号」
- https://www.town.shika.lg.jp/jouhou/kouhou_shika/kouhou2023/kouhou8gatugou.html
(2023年2月14日閲覧)
- 石川県志賀町「広報しか令和4年8月号」
- https://www.town.shika.lg.jp/jouhou/kouhou_shika/2022/kouhou8gatugou.html (2023年2月14日閲覧)
- 21) 石川県津幡町「2023年津幡町10大ニュース」
- <https://www.town.tsubata.lg.jp/division/kikaku/kisya/5051208kikaku.pdf> (2023年2月14日閲覧)

石川県津幡町「広報つばた令和5年6月号」

<https://www.town.tsubata.lg.jp/division/kikaku/kouhou/202306.pdf> (2023年2月14日閲覧)

22) 栃木県小山市「コウノトリ・トキ」

<https://www.city.oyama.tochigi.jp/kankou-bunka/miryoku/shizen-keikan/kounotori-toki/> (2023年2月14日閲覧)

栃木県小山市「コウノトリの野生復帰」

<https://www.city.oyama.tochigi.jp/kankou-bunka/miryoku/shizen-keikan/kounotori-toki/yaseifukki/> (2023年2月14日閲覧)

栃木県小山市「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館について」

https://www.city.oyama.tochigi.jp/kurashi/shisetsu-koutsuu/koukyo_shisetsu/page001375.html (2023年2月14日閲覧)

23) 北栄町 facebook

<https://www.facebook.com/hokuei.town/posts/661711791475672/> (2023年2月16日閲覧)

24) 読売新聞オンライン (2023.10.5) 「獣害対策ネットにつかまったのは『コウノトリ』…個体増加で事故増える」

<https://www.yomiuri.co.jp/local/kansai/news/20231006-0Y01T50069/> (2024年2月16日閲覧)

25) 兵庫県立コウノトリの郷公園「野生復帰ランドデザイン」

https://satokouen.jp/downloads/grand_design.pdf (2024年1月11日閲覧)